

# 阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



それぞれを皆そのままにうけ容るる

広き心を神といふなり

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作 灰釉茶盃 「月山不二」  
〔本宮山八方土十竜宮神社水、月山不二松釉〕

## 一粒万倍の活躍を！

東京宣教センター長 橋本伸作

日本では、昔から正月に門松を立て、雑煮を食べたり、節分には煎り豆をまき、3月には菱餅を飾り、5月には菖蒲のちまき、7月の素麺、9月の菊水、等々、節句の慶祝行事がありますが、大本では、それらを「調伏の行事」と言っています。なぜなら、くそ国祖・国常立尊さまを押し込めるための儀式だからです。

遠い神代の昔、この世の主宰神であった国常立尊さまは、至厳至直、善一筋の厳格な神さまであられました。その方針や厳格さに反発する八百万の神々によって鬼門の方角（艮）に押し込められました。それが節分の夜のこと。悪神たちは「鬼は外、福は内」と言って煎り豆をまきました。この「鬼」とは国常立尊さまのこととで、煎り豆に花が咲いたら出てきて良いという意味ですが、煎り豆に花など咲きませんから、二度と現れないようにという暗示です。また、門松は国常立尊さまの墓標。雑煮は国常立尊さまの臍物煮。端午のちまきは国常立尊さまの鬢髪など、それらは国常立尊さまを押し込める儀式であると、大本では教えています。

時節到来して、明治二十五年の同じ節分の夜、国常立尊さまは、「時節さへ来れば、煎り豆にも花が咲くぞよ」とおっしゃって、再びこの世の主宰神としてお出ましになりました。そのため、大本の節分の豆まきは、国祖ご再現のお祝いとして「鬼は内、福は内」と宣り直し、「一粒万倍」という祈りを込めて生豆をまきます。

今年の2月3日は、国祖ご再現131年目の節分を迎えます。人は皆、一人ひとりが「神の子、神の宮」であり、尊い主神のご分霊を頂いた「一粒の種」だと教えられています。この年も報恩感謝の心を忘れず、それぞれが一粒の種となって、一粒万倍の活躍をさせていただきたいと存じます。

日の本の国に生れし神の子よよき種をまけ野にも山にも

（二代教主さまお歌）

※原文はひらがな



## 東光苑月次祭 成人式典を執行

1月東光苑月次祭・成人式典は1月8日午前10時30分から、斎主・加藤道明祭務課長のもと執行され170人が参拝したII写真左上。

祭員は神奈川主会が、伶人は二絃の会関東支部、大本神諭拝読を志村寿隆東京主会長が、東光庵では添釜が開かれ高野社中が担当した。

祭典後、橋本伸作東京宣教センター長があいさつ、引き続き成人式典で、新成人の堀幹矢さん（神奈川主会）が紹介された。始めに石井宣江直心会関東教区連合会常任委員から祝辞と記念品が授与され、上田信大本青年部長が祝辞、ついで堀さんが答辞を述べた。続いて、大本金剛会による祝言「暁山雲」の奉納。その後、新成人は添釜に入席したII写真左下。また、1階ロビーでは、みづほA I Z E N発酵堆肥による「春菊」（亀岡産）が販売され、好評だった。



## 東光苑 大道場修行

- 日 程** 3月3日（金）午前9時（受付）～5日（日）正午ごろ
- 会 場** 大本東京本部・東光苑
- 内 容** 大道場修行初日の「大本の出現」～4日目の「大本の使命」まで（梅松苑での講座を受講すると、全日程の修了となります）
- 参加費** 4,500円（宿泊・食費を含む）  
※別途「修行のしおり」1,000円（お持ちでない方）
- 定 員** 20人（定員に達し次第、締め切り）  
※分割での受講も可  
※宿泊は相部屋になります
- 申 込** 氏名・所属・食事・テキストの要否を明記の上、下記までお申し込みください  
東京宣教センター愛善宣教課（担当・西山）  
Mail k-nishiyama@oomoto.or.jp  
Tel 03-3821-3701  
Fax 03-3821-5283
- 締 切** 2月24日（金）

## 3年ぶりに七草粥

東光苑七草粥行事は1月7日午前10時30分から3年ぶりに行われ、131名が入席。和服姿の直心会員らによる接待のもと、都会では珍しい七草の香り  
を温かい  
お粥と共  
に満喫し  
た。また、  
東光庵で  
は、高野  
社中によ  
るお茶席  
が設けら  
れた。



## 東光苑オンライン講座

3月25日（土）19:00～

かめやま  
このはなざくらと花明山植物園  
～新種発見70年に思う～

講師：澤田 徹（大本花明山植物園 園長代理）



大本の聖地である天恩郷（京都府亀岡市）には花明山植物園があって、このはなざくらという珍しい桜が生育しています。今回は、このはなざくらの特徴や発見当時のこと、また花明山植物園についてお話しさせていただきます。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

## 3月 東光苑祭典・行事予定

- 3日～5日（金～日）  
東光苑大道場修行
- 12日（日）午前10時30分～  
東光苑月次祭  
交通安全祈願祭・春季合同慰霊祭
- 18日～20日（土～月）  
東光苑春季祭式講習会
- 25日（土）午後7時～  
東光苑オンライン講座（配信）  
講題 このはなざくらと花明山植物園  
～新種発見70年に思う～  
講師 澤田 徹  
（大本花明山植物園 園長代理）
- 31日（金）  
二代教主毎年祭・東光苑観桜茶会

## 東光苑 春季祭式講習会

- 日 時** 3月18日（土）午前9時30分（受付）～20日（月）午後4時ごろ閉講予定
- 会 場** 大本東京本部・東光苑
- 内 容** ○初級クラス 基本作法から月次祭ができるまで  
○中級クラス 月次祭、大神鎮座祭、庭上祭など  
○上級クラス 月次祭、庭上祭、招魂式、発葬式、五十日合祀祭まで
- 定 員** 各級 10人（定員になり次第締め切り）
- 参加費** 1人 1,000円 ※食事・宿泊代は別途徴収
- 持ち物** 笏、大本祭式の本、帯または紐（懐笏時に必要）、筆記用具、動きやすい服装、足袋（あれば履く方が動作が容易）、宿泊用品  
※宿泊は相部屋になります  
※笏は稽古用を貸与可能
- 申 込** 取得認定級、受講クラス、食事・宿泊を明記の上、祭務課（担当・加藤）「春季祭式講習会」宛へお申し込みください
- メール** m-kato@oomoto.or.jp
- 締 切** 3月12日（日）